

問1 江戸幕府の初代将軍で、日光東照宮に神として祀られている人物は誰？

1. 徳川家光 2. 徳川秀忠 3. 徳川吉宗 4. 徳川家康

問2 元禄文化において、町人の生活や感情を写実的に描いた浮世草子で知られる作家は誰？

1. 近松門左衛門 2. 池大雅 3. 松尾芭蕉 4. 井原西鶴

問3 江戸時代の国学が大成したことで、幕末の時期に大きく影響を与えた政治的な運動を何という？

1. 王政復古 2. 尊王攘夷運動 3. 大政奉還 4. 文明開化

問4 幕府が年貢収入を増やすために推進した、新しい田畑を切り開く活動を何という？

1. 刀狩 2. 石高制 3. 検地 4. 新田開発

問5 杉田玄白らがオランダ語の医学書を翻訳して出版した本は何？

1. 暦象新書 2. ターヘル・アナトミア 3. 和蘭文典 4. 本草綱目

問6 江戸時代、5代将軍として儒学を厚く奨励し、武力による政治から道徳や学問を重視する政治へ転換した人物は誰？

1. 徳川家光 2. 徳川家康 3. 徳川綱吉 4. 徳川吉宗

問7 権利の章典が制定された後、イギリスで確立された、憲法や法律に基づいて君主が政治を行う政治形態を何という？

1. 専制政治 2. 共和制 3. 立憲君主制 4. 絶対王政

問8 オランダ商館の医師として来日し、日本の医学や自然科学の研究に大きな影響を与えた人物は誰？

1. シーボルト 2. ケンペル 3. クーパー 4. リンネ

問9 江戸時代、幕府が唯一の対外窓口として、外国船の入港や貿易を管理させた港町を何という？

1. 平戸 2. 長崎 3. 博多 4. 堺

問10 1792年にロシアの使節ラクスマンによって送り届けられた、ロシアへ漂流した日本人は誰？

1. 大黒屋光太夫 2. 高田屋嘉兵衛 3. ラクスマン 4. レザノフ

問11 江戸時代後期、幕府の権威回復を目指して改革を行った老中は誰？

1. 水野忠邦 2. 田沼意次 3. 松平定信 4. 徳川吉宗

問12 長崎のオランダ商館で医学教育を行い、日本の情報を持ち出そうとした人物は誰？

1. シーボルト 2. ケンペル 3. シャルトル 4. モズリー

問13 江戸時代前期、上方を中心に栄えた、町人が担い手となった華やかな文化を何という？

1. 化政文化 2. 東山文化 3. 室町文化 4. 元禄文化

問14 ロシアからの使節によって日本へ帰国した漂流民は誰？

1. 林子平 2. 本多利明 3. 大黒屋光太夫 4. 高田屋嘉兵衛

問15 朱印船貿易の時代、東南アジアのタイに形成された日本人居住地を何という？

1. フェトナム 2. アユタヤ 3. バタヴィア 4. プノンペン

問16 大名が一年おきに領地と江戸を往復し、将軍に仕える制度を何という？

1. 石高制 2. 武家諸法度 3. 本末制度 4. 参勤交代

答え合わせ・解説

問1	答え 4 徳川家康	徳川家康は江戸に幕府を開き、武家諸法度などの制度を整えて幕藩体制を確立しました。死後、遺言に従って日光に埋葬され、東照大権現という神号が贈られました。日光東照宮は、徳川家の権威を示すために豪華に造営されました。
問2	答え 4 井原西鶴	井原西鶴は、浮世草子という新しいジャンルを開拓しました。代表作『日本永代蔵』などは、当時の商人の金銭感覚や町人の実生活を鋭い観察眼で描いています。彼の作品は、それまでの貴族や武士を中心とした文学とは異なり、読者である町人の共感を強く誘いました。
問3	答え 2 尊王攘夷運動	尊王攘夷運動とは、天皇を敬い（尊王）、外国勢力を日本から排除する（攘夷）ことを掲げた運動です。長州藩などが中心となり、幕府の政策を批判して政治的な実権を回復しようとしていました。
問4	答え 4 新田開発	幕府や藩は、荒地や沼地を切り開いて農地に変える開発を推進しました。特に、大規模な土木工事による用水路の整備などが行われ、多くの新田が誕生しました。これにより、石高（生産量）が増大し、幕府や藩の財政が一時的に潤いました。
問5	答え 2 ターヘル・アナトミア	杉田玄白や前野良沢らは、オランダの医学書「ターヘル・アナトミア」を入手し、解剖に立ち会ってその正確さを確認した上で翻訳を試みました。これをまとめたものが「解体新書」です。西洋の解剖学知識が日本に正しく伝えられた歴史的な一冊です。
問6	答え 3 徳川綱吉	綱吉は自ら儒学を学び、幕府の公的な学問として朱子学を積極的に取り入れました。これにより、社会全体の秩序を守るための道德教育が重視されるようになりました。また、生類憐みの令を出したことでも有名ですが、学問の奨励もその統治の大きな柱でした。
問7	答え 3 立憲君主制	立憲君主制とは、君主が存在するものの、その権力が憲法や議会によって制限されている政治の仕組みです。1689年の権利の章典により、イギリスはこの体制の先駆けとなりました。
問8	答え 1 シーボルト	1823年に長崎のオランダ商館付医師として来日しました。彼は長崎郊外に「鳴滝塾」を開き、日本人門下生に西洋医学や自然科学を教えました。また、植物学や民俗学の分野でも詳細な記録を残しました。
問9	答え 2 長崎	長崎は幕府の直接の管理下に置かれ、長崎奉行が置かれました。ここにはオランダ商館や中国船の貿易拠点が設置され、海外からの物品や情報がすべてここを経由して全国へ運ばれました。
問10	答え 1 大黒屋光太夫	大黒屋光太夫は伊勢の船乗りで、漂流の末にロシアへたどり着きました。ロシアで皇帝エカチエリーナ2世に謁見し、苦労の末に帰国の許可を得て、使節ラクスマンに同行する形で1792年に根室へ帰還しました。その貴重な経験は、ロシアの状況を知る資料となりました。
問11	答え 1 水野忠邦	人返しの法や株仲間の解散など、江戸時代初期の農本主義的な考え方に回帰する政策を強引に進めました。厳しい儉約令は民衆や商人から強い反発を受けました。
問12	答え 1 シーボルト	シーボルトはドイツ人医師で、オランダ商館の医師として来日しました。彼は「鳴滝塾」を開いて日本人に対して医学や自然科学を教えたほか、日本各地の地図や資料を収集しました。
問13	答え 4 元禄文化	この文化は、京都や大坂などの上方を中心に発展しました。文学では井原西鶴が浮世草子を書き、近松門左衛門が人形浄瑠璃の脚本を手がけました。また、絵画では菱川師宣の浮世絵や、尾形光琳の華やかな工芸品が生まれました。
問14	答え 3 大黒屋光太夫	伊勢国出身の大黒屋光太夫は、江戸へ向かう途中で遭難し、ロシアへ漂着しました。長い滞在生活の中でロシアの事情を学び、帰国を願い出て、1792年にラクスマンと共に根室へ帰還しました。彼の体験談やロシアに関する情報は、当時の知識人や幕府要人の間で大きな関心呼びました。
問15	答え 2 アユタヤ	当時のアユタヤ王朝の都には、数百人から千人規模の日本人が集まる居住地「日本町」が形成されました。ここでは日本人が商売を行い、地元の王室や貿易と深く関わりました。山田長政などがこの地で活躍したことは有名です。
問16	答え 4 参勤交代	1635年、徳川家光によって制度化された参勤交代は、大名を1年おきに江戸と領地に住まわせる義務を課すものです。この往復費用は莫大であり、大名の財政を圧迫して反乱の余力を削ぎました。また、妻子を人質として江戸に住まわせることも義務付けられていました。